

令和2年度 第4回社会教育委員会議 概要

日 時： 令和3年3月16日（火）午後2時30分～4時00分

場 所： 逗子市役所5階 第2会議室

出 席： 角田委員（議長）、堀江委員（副議長）、東委員、生駒委員、大本委員、桑原委員、
佐藤委員、長坂委員、松井委員

欠 席： 吉川委員

事務局： 社会教育課 橋本課長、匂坂、中村、内山（記録者）

傍聴者： なし

資 料：

- 1 教育委員会定例会会議録目次（8月～10月） [報告1]
 - 2 令和2年度社会教育課主催講座実施計画 [報告3]
- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会報告 [報告2]
 - ・令和3年度社会教育委員会議 会議日程（案）
 - ・県社教連 会報 No.88

●開会

●資料確認

●報告事項（1）教育委員会定例会について

○事：資料1参照。社会教育に関わる議題等は特になし。

●報告事項（2）神奈川県社会教育委員連絡協議会 研修会について

○委：研修会は書面開催となり、DVDで講演「社会教育と社会教育委員の役割」（講師：清國祐二氏 独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センター長）を聴き、別紙の報告にまとめた。主な内容は「個人が孤立した社会を形成しないためにも、子どもの時期から人とのつながり、関わりが重要である。学校教育に依存せず、地域人材から協力を得るために、行政は地域の人材や、団体の内容や性質を知っておく必要がある。社会教育委員は、自治体の社会教育計画等について自ら学習し、地域や学校と交流し能動的に情報共有をすべきであり、地域課題を明確にし、積極的に委員会に意見を発信するのが理想的である。地域の未来は、地域総がかりで子育てをしないと得ることができないのではないか」といったものだった。

●報告事項（3）令和2年度社会教育課実施事業の状況について

○事：資料2参照。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人権関係の講座等は、すべて開催することができなかった。社会教育講座、出張講座、家庭教育講座については、一部の講座が残念ながら開催中止となった。

○事：講座の中止が余儀なくされる中で、何名かの講師に、音源や資料をホームページに掲載するなど、何らかの形でのオンラインでの学びについて打診したが、それを想定せずに講師をお引き受けいただき、準備をさせていただいており、承諾が得られなかった。講座の内容によっては、プライバシー保護、著作権・肖像権等の問題から、オンライン学習に不向きであること、また、情報が切り取られ流布されることへの懸念から、発表する内容が制限されてしまうなどの課題がある。他市の状況も収集し、意見交換も行い検討している。オンラインで講座をおこなうための逗子市のシステム環境の状況もあるので、少しずつできるところからやっていく。Zoomに関しては、講師のもつアカウントを使用させてもらう方法もあると考えている。

○委：テーマによってはオンライン講座が困難であることは理解できる。一方、開催可能なテーマもあるだろう。Zoomは簡単に講演会が開催できるツールであるので、市役所としてZoomアカウントをもつことが困難であれば、委員会や団体などがもつZoomアカウントを利用する方法なども考えられるのではないかと。オンラインによって参加できる人もおり、離れたところにいる人に加わってもらうことができる。この機会に手法に習熟し、社会教育委員会としてもできることを考えたい。

○委：行政としての制限もある。できる範囲でやっていく、できるものはないか、と考えていくのがよい。アカウントも講師に借りられるのなら、それもひとつの方法である。

○委：Zoom は双方向性が保てることがよい。講師にその場で質問に答えてもらえ、チャットでの質問も可能である。PTA では代表者のアカウントを利用し、保護者会などを行った。一步踏み出してできることからチャレンジし、慣れてくればまたいろいろなことができるだろうと、利用してみて感じた。

●報告事項（４）令和３年度社会教育事業関連の予算（案）について

○事：今年度とほぼ同様の予算である。家庭教育事業では、社会教育推進プランの目標にある５講座分のみの予算を確保し、その分、各種講座事業に多く充てた。学校開放の予算については、教室と体育施設で予算が分かれていたものを統合した。

●議題（１）議長・副議長の選出

○事：角田委員に議長、堀江委員に副議長を、引き続きお引き受けいただきたいと考える。
（全委員異議なし）

●議題（２）社会教育委員会議による講座企画について（継続）

○事：議論できる場を今年度は設けられなかった。今年度開催できなかった講座は、来年度に開催する予定である。また、家庭教育の連続講座をどのようにつくっていくか、人権関係の講座は集客も含めて課題があることなどを含め、逗子市の社会教育のあり方の中で、検討いただければと考えている。

○委：リモートで行うことを前提に、講座を企画してはどうか。

○事：制約がある中で市の主催として、委託も含めどのように実施できるかを考えていきたいし、実施が可能な手法でご検討いただきたい。方針ができれば、令和４年度以降に向けての予算要求も可能である。

●その他

○退任の委員より挨拶

東 浩司委員

○令和3年度の会議日程について

第1回会議は6月1日（火）14時30分から開催。

○各委員より、所属団体等の今年度の動きについて

●閉会

委:は委員、事:は事務局が発言した内容。